

◆第67回記念講演会・共同企画2014★東京の都心再生を歩く（活動記録+評価集計結果）◆

企 画■東京の都心再生を歩く～日本橋・京橋・八重洲・大手町～

（都市と住宅を考える会+teku-teku 共同企画）

日 時■2014年12月7日（日）10:00～13:30

コース■日本橋室町地区（YUI TO、コレド室町1・2・3+福德神社他）～日本橋地区（日本橋一丁目、日本橋二丁目・高島屋他）～京橋地区（京橋二丁目西・明治屋他、東京スクエアガーデン）～八重洲地区（東京駅グランルーフ、八重洲TCX構想地区/城東小学校・裏街界限、新鉄鋼ビル）～丸ノ内地区（東京駅舎、丸の内オアゾ*、日本工業倶楽部他）～大手町地区（常盤橋街区・日本ビル、大手町タワー、大手町二丁目、大手町連鎖型再開発1～3次/フィナンシャルシティ・川端緑道+日経JA経団連） *丸の内オアゾで昼食休憩

※まち歩きの後、饗庭伸氏（首都大学東京准教授）による講演会+討論会「東京の都市再生を歩き、成果を検証する」が、ちよだプラットフォームスクエアにて開催されました。

参加者■◎栗原 徹（コーディネーター）

饗庭 伸、赤羽祐哉、大竹 亮、梶川義実、呉祐一郎、小林正樹、佐々木龍郎、重永真理子、志岐祐一、清水俊哉、鈴木丞二、曾我明宏、高橋 謙、中島睦之、二瓶正史、伴 宜久、東濃 誠、水谷晴子、谷貝 等、安留佳佑、横田宣明（以上22名、敬称略）

企画主旨■

東京の国際競争力強化のため、東京都心部の都市再生が進められているが、特に日本橋室町～京橋にかけての中央通り沿道では多くのプロジェクトが事業化しつつあり、また、東京駅前八重洲地区では大規模なバスターミナル機能を持つTCX（ターミナルコンプレックス）を、3つの再開発事業によって整備する計画が公表されている。一方、大手町では、国有地を種地とした連鎖型都市再生プロジェクトによって、大規模なオフィスの建替えを進めているが、その区域を常盤橋街区まで拡大し、日本ビル等の建替えも検討している。

多くの都市再生プロジェクトが進行している地区を歩くことで、日本の最先端の都市再生の状況を把握するとともに、都市再生プロジェクトによって街がどう変貌しているのかを体感する。



大手町フィナンシャルシティにて説明



日本橋二丁目（交差点街区）の再開発の風景

<参加者の意見・評価>

1 ■東京都心部の都市再生動向について（歩いたエリア全体の感想）

- これまで更新が進まなかった八重洲エリアも事業化の動きが出てくるなど、多くの都市再生プロジェクトが進行してきており、都市が大きく変化していることが実感できる。
- 東京駅を中心とした東西地区を歩いて、これほど多くの開発が動いているとは思わなかった。特に、普段銀座線で地下を通過している京橋から三越前にかけての開発の勢いには驚いた。
- 日々進化を遂げる都心のエネルギー的な生命力を実感した。
- 東京都心は他の全国とは違うポテンシャルがあることを改めて感じました。
- やはり東京は凄い。デフレ下で地方は閉塞感に包まれているが、東京のみ勢いがある。
- 大資本の拠点開発により、いつのまにか過去と全く異なる風景ができているという感じを受けた。

- 今回のようにまとめて歩いてみると、想像以上に多くの場所で同時進行で開発が行われている印象を受けた。「この供給量に需要がどこまで追い付いていくのだろうか？」と思ってしまった。
- 事業手法の違いにあるそれぞれの差異は予測していたが、実際現地を歩いてみると、それ以上の違いがあることを再認識した。
- 半日で観ることは、体感としてつながるので、一つのビル見学とは大きな違いがあるはず。バラバラだと感じたのは、やはり収穫というべきか・・・。
- 足元（低層部・人が歩いて認識できる範囲）の造り方に工夫を凝らしてデザインすれば、超高層の密集地区でよいのか。超高層の密集地区はどの程度の広がりまで許容されるのだろうか。「許容」などという発想をすること自体、時代遅れなのか。需要がある限り、集積させていくことが活性化なのか。・・・という疑問に答えが見つからなかった。
- 予想以上に多くの開発が進んでいる。また、できた姿も従来の都心ビル街のイメージと異なる超高層＋広場型が多く、都市の記憶が失われつつある。エリアの特色を生かし継承発展させるような事業を望みたい。

2 ■歩いたエリアの個別の感想

2-1 ◆日本橋室町地区（YUITO、室町コレド1～3、福德神社、三井本館など）

- コレド1～3が出来て、面的な賑わい空間が形成された。老舗も活かした日本橋らしいまちづくりが進められている。
- 休日・夜間は淋しくなってしまう業務に地区に商業施設が入り、平日の昼間とは異なる魅力が増えたと思う。
- 統一感のとれた開発がなされていて、整然としつつも賑わい感があった。
- 神社が公共貢献であるとか、老舗が店子で複合ビルに入居したり、近隣のブロックで建替えたりなど他地区にはない特徴的な開発になっている。
- 仲通り側のコレド室町1～3の作り方は、雰囲気もあって良く出来ていた。再開発されていない昔からの店舗も味わいがあり、街全体に力が有ると感じた。全てを再開発するのでは無く、古い街区とバランスを取りながら開発されていくと良い。
- オフィス棟などの「見上げた高さ」を意識しなければ、江戸の老舗街である日本橋を21世紀に解釈したデザインはさすが。歩いた時のスケール感も良いし、福德神社は緑の潤いと街中の意外性ある空間で楽しめた。
- 福德神社を再建し地域コミュニティの核とするのは素晴らしい。
- 福德神社再建の経緯はともかく、緑地や低容積の空間は大切だと思う。
- 表通りは格調ある建物が並んでいる。内部街区の風情ある路地の小さなお店も残ってもらいたい。
- 街並みは立派。昼から夜の時間帯に歩いてみたい。
- ここに挙がっている建物の多くは日本設計の設計でしたので、皆さんがどのように感じられるか、に関心がありました。やっぱり神社がインパクトありましたね。
- 三井が三菱に負けじと頑張っていることを感じました。街区での都市空間を作りたいという意識は感じられますが、やはり建物内で完結しているプランニングが基本なので残念でした。
- 銀座や丸ノ内に対抗しうる日本橋室町エリアが形成（再生）されつつあると実感した。特に、多彩な老舗が揃い、路地の奥に神社があり、歩行者の回遊性ができつつある室町コレド境界は魅力的であり、小規模な建物が密集する周辺の街区がどのように変化していくのか、今後が楽しみ。



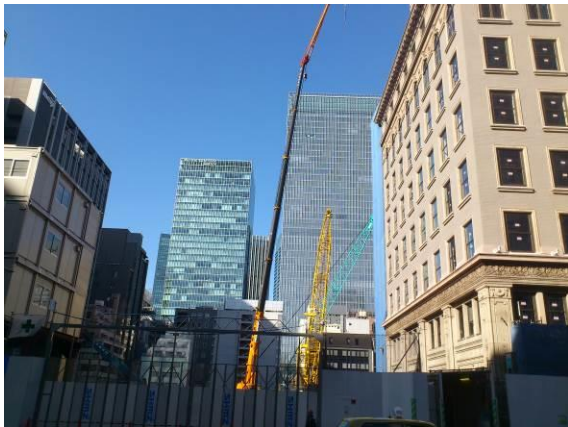
再開発地区内に再生された古刹・福德神社



和の老舗が軒を並べる室町コレド1～3

2-2◆日本橋京橋地区（日本橋・高島屋周辺、京橋・明治屋周辺、東京スクエアガーデンなど）

- 京橋周辺はこれまで地味な街だったが、いくつもの再開発が進行し、劇的に変わりつつある。ここが拠点になると、日本橋と銀座を結ぶ回遊性が生まれてくる。
- 銀座通りの両側の至るところで建て替え工事が進んでおり、京橋から日本橋室町までが一体的な商業業務地区として認識されてくるのではないと思われる。
- いつの間にか京橋が新しい街に変身しています。
- 明治屋ビルを保全・再建するのは非常に良いことと思う。
- 明治屋の対面側の街区は壁面が揃ったいかにもオフィス街という様相なので、このままで良いのではないか。
- 明治屋は保存建物とシンメトリーに新しい建物を作っているが、デザインや街並みとして良いものになるのかどうか、現時点ではわからない。
- 東京スクエアガーデンの緑化やボイドは良い雰囲気だと思う。
- 東京スクエアガーデンの「京橋の丘」の豊富な植栽が印象に残った。
- 東京スクエアガーデンの都市計画は日本設計です。屋上緑化について竣工時より大分育った感じがしました。
- まさに拠点毎の開発で、全体として共有されている都市空間の方向性がないのが残念だと思った。特に京橋交差点付近は新しい街区の使い方とデザインを行っていて、それなりに面白いと思うが、伝統的な街路と建物の関係や既存道路と建物との関係、スケール感などが気になった。
- 再開発の途上なのでわからないが、超高層の再開発が連続する街並みができるわけで、「ほっとする」空間がどんなふうにできてるのだろうと思った。オフィスで働く人も住人なのだから、ヒューマンスケールと癒しの場、自然に触れる場が欲しいと思うはず。
- 都市再生特区の事業ビルの公共貢献の部分が本当に公共貢献になっているのか、他との大きな違いに驚いた。
- 31m絶対高さ制限と道路に面する壁面線が揃った街並みが、多くの再開発事業で一変しつつある。室町地区と銀座地区は特色を明快にしたまちづくりを進めているので、その間の日本橋・京橋地区では中央通りのストリート性をどう演出するか、がカギだと思う。



歴史的建築の明治屋ビル(右)を保存する再開発



広場と植栽を提供する東京スクエアガーデン

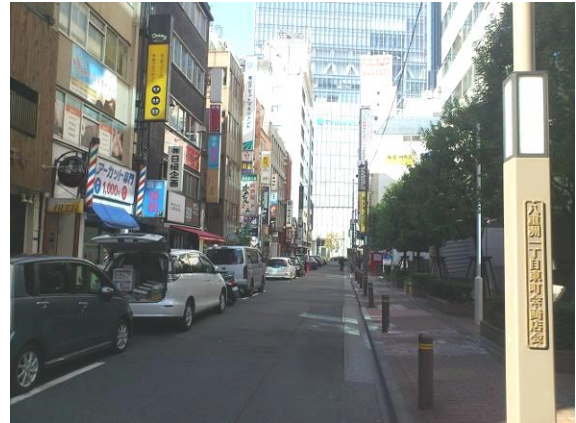
3-3◆東京駅・八重洲地区（グランルーフ、八重洲TCX構想地区、新鉄鋼ビルなど）

- 八重洲再開発構想について、国際都市東京の国際競争力を高めるためやむをえないと思うが、この地域は東京の地域としての多様性を示す場所であり、一掃するのはもったいない気がする。
- 八重洲は飲み屋のある路地空間など独特の味わいがあり、界隈性を残した再開発ができると面白い。
- 城東小学校の建物が良かったので、保存して活用できれば良いと思った。
- モダンなグランルーフと、向かいの路地にある城東小学校との対比が面白かった。
- 八重洲の3つの再開発の都市計画は日建設計と日本設計で協力しながらURが取得予定のバスターミナル整備を含み進行中。都市計画上もグランルーフは相変わらず街とつながっておらず、デザインのみなのが残念。
- グランルーフは離れて見ると美しいが、機能がない。駅や新幹線を楽しむ場として作ってほしかった。八重洲の細街路と店舗はそれ自体面白いし、再開発に吞まれず頑張してほしい。
- グランルーフは景観的には面白いが、もう一工夫欲しいところ。
- グランルーフの2階通路部分の利用方法がもったいないと思った。
- グランルーフの2F部分は折角の東海道新幹線も見えずに勿体ないように思われる。八重洲口は地下街をはじめ継ぎ足し型の開発になっているが、八重洲再開発時には全体的なマネジメントができると良い。

- グランルーフは都市空間としては面白いが、バスターミナル部分以外はアクティビティのプログラムが少ないのが気になった。単なる通路ではなく新しい都市空間として使われ方の工夫がもっとあったかと思う。
- 誰かが指摘した通り、開発の将来像が見えなかった。
- 開発の将来像が予想しにくかったが、それは東京駅と八重洲地区の開発構想が有機的に連結されていないからであろう。自己完結的なグランルーフが象徴的。T C Xを設けるならば地下街も含めた大改造が必要では。
- オリンピックに向けてどう変化するのか見ていきたい。



東京駅再開発のサウスタワーとグランルーフ



八重洲地区内部街区の雑居ビルの風景

4-4◆丸の内地区（東京駅舎、オアゾ、新丸ビル、工業倶楽部など）

- 超高層オフィスビルへの建替えによって高度利用を図りつつ、赤レンガ駅舎、中央郵便局、日本工業倶楽部などの歴史的建築物を保存することで、東京の玄関口に相応しい格調高い景観を形成している。
- 東京駅などの歴史的景観を活かし、丸ビル等の建て替えで業務機能を高度化しつつ商業機能を導入し、仲通りの形成で賑わい空間を形成している。グランドデザインに基づく街の機能と魅力の向上が成功している。
- 丸の内地区の歴史的建築物の保存の努力と、新しい建物も含めて端正な街になっている。
- 整然とした統一感と、ソフトの充実を認識した。休日でも人が一杯！
- 竣工時の賑わいを維持していて好感が持てた。
- オアゾはパサージュが周辺のビルとの動線上効果的だと改めて認識した。
- 東京駅前の丸ノ内地区は、すっかり新しいビルに建て替わった。人はビル内に滞在し地下道で移動するので、地上部分の寂しさを感じた。特に休日だからだったかもしれない。
- 新しく綺麗な建物ができているが、やや無機質な感じ。
- オアゾ周辺の建物はゴチャゴチャと建っている感じで、ただオアゾでつなげているだけという印象を受けた。
- 何と言っても東京駅舎の存在感が凄い。
- 丸の内～大手町の都心再開発は、日本の都市建設史の1ページですね。



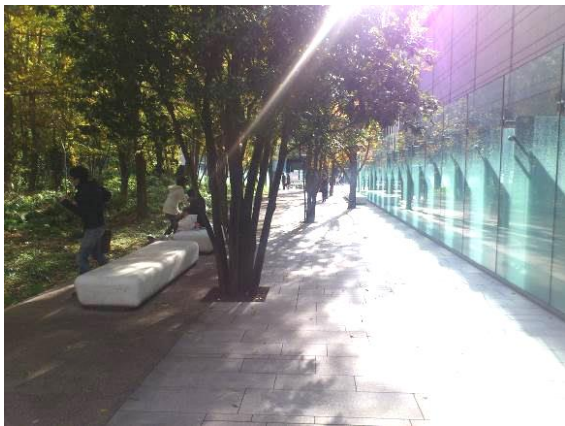
通り抜けできる丸ノ内オアゾのアトリウム



歴史的建築を保存再生した日本工業倶楽部

5-5◆大手町地区（大手町タワー、フィナンシャルシティ+川端緑道、日経J A経団連など）

- 連鎖型都市再生によってオフィスは順次最先端のものに建て替わってきたが、街としてはあまり魅力的とはいえない。
- 次々とビル開発が進んでいるが、商業施設はちょっとした飲食のみで賑わい空間に欠ける気がした。
- 老朽化したビジネス関連建物を建て替えていくのは必要と思う。
- 丸の内仲通りを延伸する計画のようだが、仲通りの雰囲気と大手町の新しいビルの雰囲気が全然違うので、連続性を保てないと思う。賑わいを引っ張って来ることが出来るかどうか疑問。神田とつなぐ歩行者用の橋は良い発想だと思う。
- 「大手町の森」がガラスの壁に遮られて十分に生かせていないと感じた。
- 「連鎖型再開発」という割には、空間に関係性が感じられなかった。
- これらのプロジェクトは内部完結型開発を強く感じた。特に伝統的な堀等の外部性環境がある場合は、その今日的意味や使い方を考えたアーバンデザインと共に考えないと拠点整備では限界があると感じた。
- 区画整理の限界を感じる。川との関係は30年前でも同じレベルでつくられたらと思うと、計画者である我々はなにをやっていたのだろう、と自問自答したくなる。
- 川沿いの公共用地の整備など綺麗にできていたが、ソフトがついてきていないなどの印象があった。休日になると人がいない！
- 古い業務ビルの更新・高度利用という点では評価できる。オフィス街に特化して商業用途も平日主体と割り切っている（？）のはやむを得ないだろう。日本橋川の首都高が撤去・地下化されると内神田エリアとの関係が深まると予想され、今はそれがあまり考慮されていないように見えるが、変化をもたらすことを期待したい。



丸の内仲通りの延長上にある大手町の森



竣工した2次連鎖型再開発と工事中の3次地区

3■今回歩いたエリアの中で、特に印象に残った開発地区

- 日本橋室町地区★世界的に見ても繁栄して美しかった「江戸」を部分的にでも現代に翻訳しているし、近代建築も残している。歴史を刻んだ都市空間を実感して、来街者にも一層楽しめる街になるよう期待する。
- 日本橋室町地区★三井不動産のカラーで地区の拠点性を出しているところが印象に残った。
- 日本橋室町地区★福德神社を再建。
- コレド室町+福德神社★老舗の銘店、小さな神社、ヒューマンな路地など、いい雰囲気の境界ができた。
- コレド室町★開発によって個性的な店舗や映画館が導入され、日本橋室町に賑わいを創出している。
- コレド室町★時代がかった雰囲気の良さ。
- 日本橋京橋地区★これだけの開発が進んでいるとは思わなかった。
- 日本橋交差点再開発★重要な場所であるので、交差点角の空間と景観について、4街区で調整してすばらしい効果を期待したいところだが・・・。
- 日本橋二丁目再開発★高島屋の歴史的建築を残すならばこそ、高さや壁面線も含めて街の記憶を継承すべき。
- 京橋二丁目再開発★明治屋の建物の保存活用はすばらしいこと。新築建物との関係が上手くいくことを望む。
- 東京スクエアガーデン（京橋）★都心部に大規模な植栽空間を創出した。
- 東京スクエアガーデン（京橋）★京橋の印象を変えたと思います。
- 東京スクエアガーデン（京橋）★公開空地と緑化には感心するが、街並みを大きく変えたことは疑問。
- 東京スクエアガーデン（京橋）★緑化の偽物感。

八重洲地区★新しさと古さの混在、今後の変化の予感など。

八重洲一丁目★中小ビルや雰囲気のある路地空間など、独特の界隈性がある。

八重洲の裏路地帯★これぞ東京！ サラリーマンの癒しの場所！

東京駅・八重洲地区★八重洲再開発構想。

東京駅グランルーフ★丸の内口の景観と比べると、何のためなのか意味不明。

東京駅グランルーフ★デザインは評価できるが、機能や空間は落第点。2階デッキは魅力がなく、おざなりに造ったとしか思えない。

鉄鋼ビル建替え★外堀通りに沿って細長いファサードを誇る戦後名建築であり、その記憶の継承を願いたい。

常盤橋街区（日本ビル等）★防災建築街区整備事業（再開発の前身）でできた高層ビルが、もう再開発とは！

丸ノ内オアゾ★通り抜けのアトリウムが効果的。

丸ノ内オアゾ★複数のビルが独立性を持ちつつ一体化されており、アトリウムや屋外などの中間領域のつくり方が非常に上手い。

丸ノ内仲通り★広い舗道に店舗が連続して心地よい雰囲気。まちづくりの全体計画が実現している効果を実感。

大手町タワー★地上部分はよそよそしいが、地下鉄通路は親しみやすい。大手町は地下に賑わいがある街か。

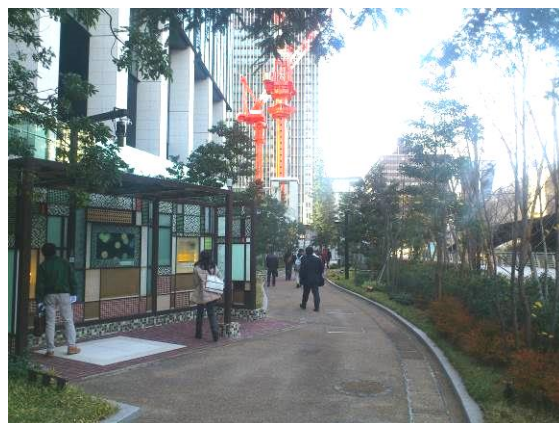
日経J A経団連★連鎖型再開発の第一号として、外観の統一性や低層部の連続性に工夫が見られる。

大手町川端緑道★日本橋川に目を向けたことは、今後の環境向上につながると思います。

大手町川端緑道★将来、首都高が地下化されたらリバーフロントの魅力を活かせる場所なので、対岸の神田側との関係も考えて、もう一工夫ほしいところ。



庶民的な界隈性あふれる八重洲の路地裏



日本橋川沿いに整備された大手町川端緑道

4 ■東京の国際競争力を強化するための現在の一連の都心再生は、都市像や空間形態として望ましい方向に進んでいると考えますか。

●業務機能を東京駅周辺に集積させることや、開発に際してオフィスだけでなく商業施設などを導入して賑わい空間を創出させるという方向性は、間違っていないと思う。

●日本橋・東京駅というわが国の交通の中心における賑わい空間の再生は良いと思われる。

●業務機能は向上してきていると思うが、もっと魅力ある住宅や、水辺や緑を楽しむ空間のつながりに力を入れてほしい。

●拠点と拠点の間をどうするか、ハードとソフトだけでなく、人と人をつなぐようなエアーマネジメントが必要。大型のオフィス街でないエリア、つまり話題にならないエリアこそ賃料が下がり、創造的な新しい可能性が誕生する。

●先日ニュー新橋ビルを中心に新橋西口を散歩した。行く前は無くなるのが残念と思っていたのだが、ビル内のテナント状況やトイレ等施設の老朽化を見ると、無くなるのもやむなしと思う。しかし、残すべき地域・建物・施設を選別して、できるだけ残してもらいたい。成熟化した日本だからこそ、できると思う。

●都心部の業務機能の強化や建物の更新は望ましいと考えられるが、できている空間の魅力については、事業ごとエリアごとのコンセプトによって大きく差が出ているように感じられる。超高層建築は半永続的と考えれば、開発のエネルギーを活かすためにもグランドデザインが必要不可欠ではないか。

●事業優先の再生であるので、本当に将来まちづくり像に合致しているか、誰が指導しているのか？

●国際競争力強化と、オリンピックを控えての一連の都市再生、ダイナミックではあるが、統一感を感じられない。これも東京という都市の本質の一つだろうか？

●国際競争力を強化するための現在の都心再生は、ますます大都市圏への集積を進め、地方の衰退を招くものだと思います。日本の国際競争力が一気に高まり、目標よりも早く外国人旅行客が年に 2,000 万人に達したとしても、その恩恵はやはり中核市以上の都市と、余程個性のある地域だけにもたらされると思います。望ましいというより、止むを得ない方向に進んでいるといったところでしょうか。

●望ましい方向ではないと感じます。場当たりの個別拠点開発ではなく、やはり江戸から東京とつながる将来の東京の都市像を全体的に考えてインフラ整備や建物の開発方針などを考えないと総体としての魅力的な東京にはならないと思います。

●「世界一企業が活動しやすいまち」の実現が今の政権の国家目標のようですが、これは空間の質的向上やまちの魅力と連動するものではないと思います。短期の目標として資本にとっての国際競争力を強化するということが求められる一方で、都市としての魅力を永続的なものにする努力がさまざまに続けられていることを評価し、応援していかないといけないと思いました。

5 ■都心再生における住宅供給はどのようにしたら良いと思いますか。

●生活にゆとりを持ち交通負荷を軽減するためにも、職住近接は進めていくべきと考える。住宅用途優先地区（住宅の比率を高くすることを義務付ける、住宅に限って容積割増を認める等）の創成やスーパー等の生活施設の優遇を行うなど。附置義務住宅制度は一定規模以上にし、小規模な下駄履き住宅を作らないようにすべき。

●立地にふさわしいニーズを満足させる（人々の憧れとなるような）ものを目指してほしい。

●絶対に必要な課題だと思います。開発の条件にして東京都等が買い取って、賃貸の公営住宅にするなども良いと思います。

●年齢バランス、所得バランスのとれた住宅供給をしないと、世界中からお金のある人々が移り住むようになり、地域のコミュニティの衰退を加速させるのではないかと思います。

●高層化しかないと思う。

●神田や日本橋人形町など周辺では住宅供給が進んでいるので、丸の内や大手町、八重洲などで住宅を供給する必要はないと思う。

●開発が進んでいる都心の周辺に住宅供給をして、歩いてアクセスできる環境をつくっても良いと思う。

●日本は急速に高齢化・人口減少している。従って既存の古いストックが大量に空家化することが容易に予想され、これの対策が急務かつ最重要である。単にリノベーションを加速すれば良いという問題ではないと思う。

●都市の魅力には、その場所でのさまざまな人間活動が必要で、さまざまな人が住むこともそのひとつだと思います。さまざまな人が住むために、地価に直結しない住居費の実現があります。緩和型地区計画などで高容積化することにより、それなりの住居費を実現していることは認めなくてはなりませんが、超高層が連担する街並みが居住にふさわしいのか疑問です。今回特に感じたのは、風の強さ、まったく日があたらない道の寒さ。屋外で自然に触れることが快く感じられない空間に、人が住むのかという疑問。

●都心中枢部に住宅はなじまないと思っていたが、八重洲の城東小学校が健在なのを見て考えを改めた。しかし、かつても店舗併用住宅での生業的居住者が多かったであろうから、従来のようなファミリー向け住宅という発想ではなく、SOHOや短期滞在などビジネス関連の居住機能に着目し、供給については裏通りにある既存ストックのリノベーションで対応するなど、新しいスタイルを模索したらどうか。

●徹底的にリノベーションすべき。風呂なし木賃アパートもあるエリアでリンケージして利用する（住宅と事務所と図書室など・・・）。安い賃料でレベルの高い居住空間づくりにシフトしていきたい。



午後の講演会で都市再生を論説する饗庭先生



後半の討論会では会場から熱い議論が続出

6 ■将来の東京都心部は、どのような姿であってほしいですか。

- 大規模なオフィスビルだけでなく、魅力的な商業施設や、界隈性のある空間、文化や水と緑の空間など、多様性のある街になってほしい。
- 業務機能、商業機能に特化するのではなく、商業・業務・居住の機能が混在した平日も夜も休日にもぎわいのある町になってほしい。
- 仕事以外でも海外から訪れたい街の魅力を持つようになってほしい。
- スーパーストリックで十分な空地がある超高層建物や、街区ごとにまとまった街並みがきれいな地域がバランス良く配置されていると良い。一方でゴミゴミした繁華街もある程度残すべきと考える。
- 最先端の施設・建物と古い伝統的地域が共存すること。
- モダンと歴史懐古へのリスペクトが高度なバランスで共存してほしい。
- 商・住の調和と歴史を感じられる空間。緑の空間を創り出す。
- 都心部は高速道路をなくして河川や運河を再生することが、まず初めにやることだと思います。
- 自分が学生だった 35 年前と比べると、現在の東京都心部はとても綺麗になっていると思います。まだまだ不十分ではありますが、東京駅の復元を始めとする歴史的建造物を活かした再開発も進んでいると思います。遠望する東京は、いつの間にか超高層建築物で埋め尽くされてきています。ですが、その足元は結構綺麗に整えられています。正直なところ、どのような姿であって欲しいのか、私には語れるものがありません。
- 高次業務・商業機能を基本としつつ、エリアごとに特色を持ち、相互に競い合いながら、全体として厚みと深みのある魅力を備えた回遊性のある街になってもらいたい。そのためには、街の将来像を共有し実現に向けて主体的に取り組むエリアマネジメント活動が不可欠。
- 上からの政策、施策を期待するのではなく、自らまちを面白くしよう、とする動きに対し、多くの人が援助する姿がみたい。

7 ■当日の企画についての感想など

- 東京都心の激しい変貌の現場を一気に歩き、都市再生の全体像を大局的に把握することができました。そして、開発手法も空間構成も様々であると実感し、大いに考えさせられました。実際に歩いた後なので、午後の講演会＋討論会も盛り上がりしましたね。栗原さん、すばらしい企画をありがとうございました。(O・R)
- よく練られたコース設定だったと思います。栗原さんの資料も当を得ていたと思います。(H・M)
- 素晴らしい企画だったと思います。やはり専門家の説明を受けながらみんなで歩くと言うのは何ものにも勝るテキストです。大変勉強になりました。考えさせられました。(Ni・M)
- 盛りだくさんの視察地を効率的に時間どおりに案内していただきましてありがとうございました。(G・Y)
- 東京都心の開発状況をまとめて見ることが出来、また専門的な解説も聞くことが出来てとても良かったです。ありがとうございました。(Na・M)
- 今回の見学地区の整備水準は、それぞれ相当に高いものでした。ですので、これまで通りなら、それぞれの地区を見るために一定の時間を取るところです。ですが、今回は相当の広範囲を短時間で一気に見てしまうという企画でした。その結果、私としては、個別の地区を評価するだけの細かい情報を得られませんでしたので、個別の感想は記述しませんでした。(S・T)
- 今後は機会があれば、東京駅舎内も見学したい。(S・J)
- 短時間に一気に歩けたことが良かったと思います。企画・説明を頂いたコーディネイターに感謝いたします。(Y・H)
- 短い時間なのにポイントについて案内いただきました。かなり理解できました。ありがとうございました。(T・K)
- 盛りだくさんで、じっくり予習・復習が必要な企画でした。(S・M)

コーディネイターより ■当日は短時間で多くの地区を見たので、各々の地区をじっくりと味わう時間はありませんでした。コレド室町など中に入ると印象が変わると思いますし、大手町は休日と平日は全く雰囲気が違います。興味があれば、じっくりと見に行ってください。(K・T)

